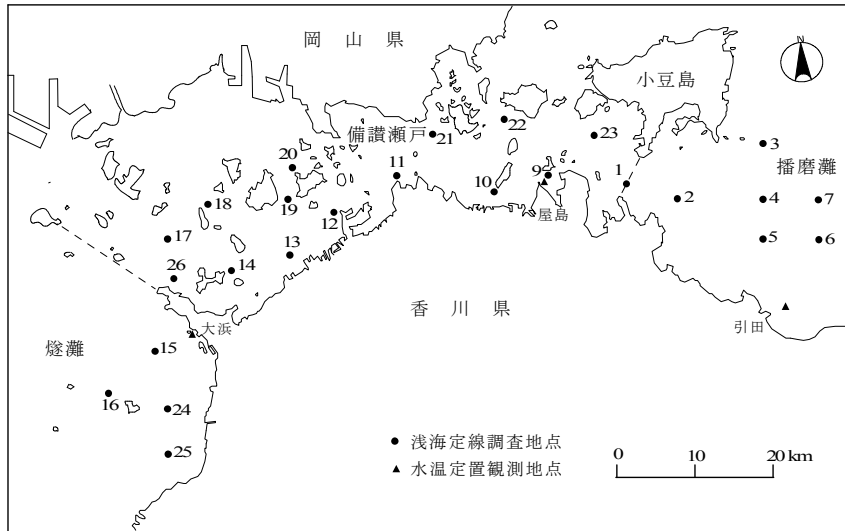


# 香川県漁海況速報 平成22年4月 (H22-1号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



## 2) 浅海定線調査

### (1) 調査日

平成22年4月5日（備讃瀬戸，燧灘），6日（播磨灘）

### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温及び塩分は「平年並みからかなり高め」、透明度は「やや低めから平年並み」、溶存酸素は「やや低めから平年並み」であった。

4月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透 明 度 (m)	溶 存 酸 素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	11.1	10.5	10.2	32.4	32.5	32.6	7.6	6.17	6.11
	平年値	10.5	10.1	9.8	32.4	32.5	32.6	8.6	6.45	6.17
	平年偏差	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.58	0.58
	標準偏差(σ)	1.0	0.9	0.8	0.5	0.5	0.5	1.5	0.25	0.24
	状 況	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	平年並み
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	11.2	11.1	11.1	32.7	32.7	32.7	5.6	6.26	6.21
	平年値	10.6	10.5	10.5	32.6	32.7	32.7	5.6	6.21	6.18
	平年偏差	0.6	0.6	0.6	0.1	0.1	0.1	0.0	0.05	0.03
	標準偏差(σ)	0.8	0.8	0.8	0.6	0.6	0.5	1.2	0.18	0.18
	状 況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
燧 灘	4地点平均値	12.0	11.2	11.0	33.0	33.1	33.2	8.1	6.25	6.07
	平年値	11.7	10.7	10.5	32.9	33.1	33.1	8.4	6.29	5.94
	平年偏差	0.3	0.4	0.5	0.1	0.1	0.1	-0.3	-0.04	0.13
	標準偏差(σ)	1.0	0.7	0.7	0.5	0.4	0.4	2.0	0.25	0.31
	状 況	やや高め	やや高め	かなり高め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み

平年偏差＝平均値－平年値

平年値の算出期間

水温，塩分及び透明度：昭和48年（1973）1月～平成13年（2002）12月

溶 存 酸 素：昭和48年（1973）2月～平成13年（2002）12月

水温は，毎月1日の値に補正。

平年並み  $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$  ( $\sigma$ ：標準偏差)

やや高め（やや低め）  $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め（かなり低め）  $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め（著しく低め）  $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

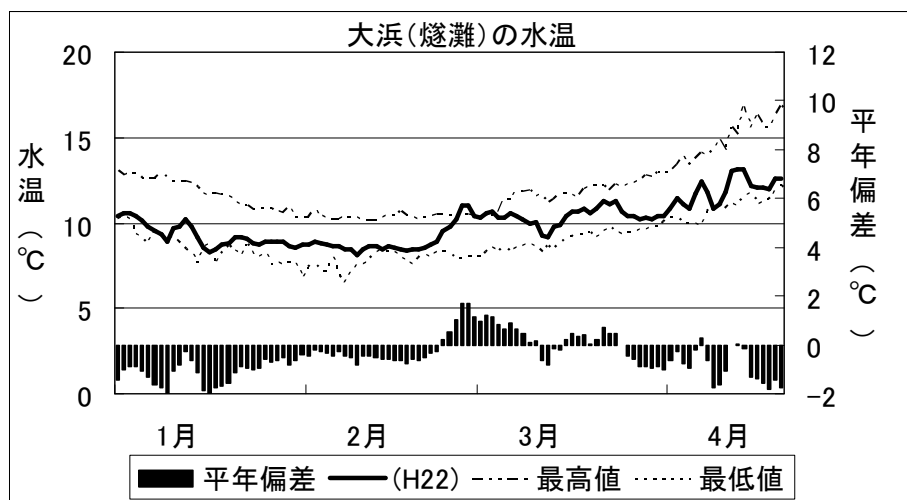
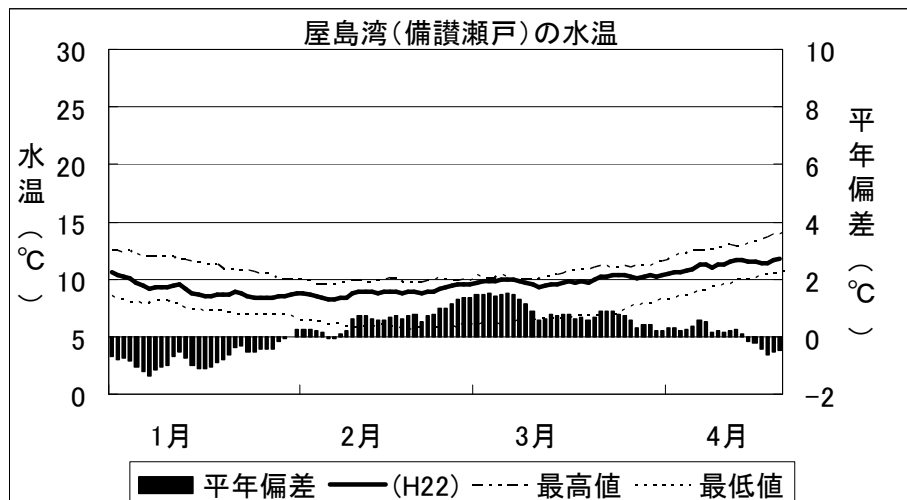
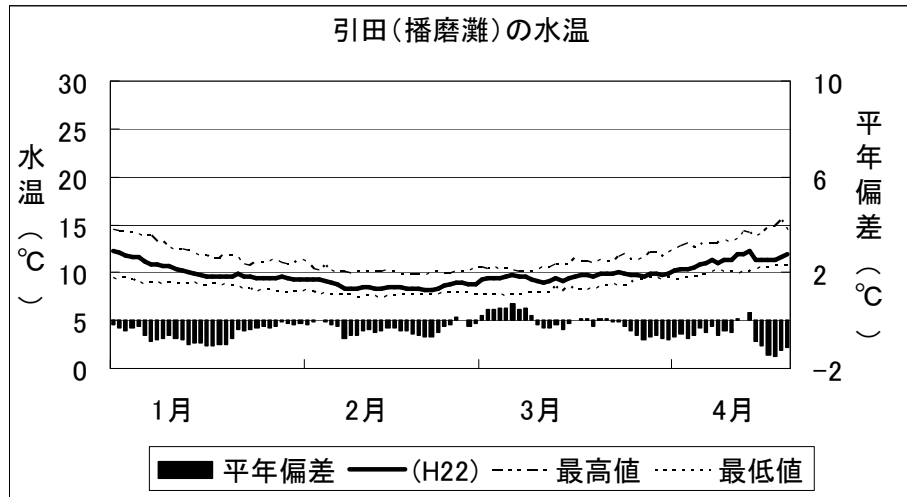
### 3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 1, 2月は平年並みからやや低め, 3月はやや高めからやや低め, 4月は平年並みからかなり低めで推移している。

備讃瀬戸 (屋島) : 1月はやや低めから平年並み, 2月は平年並みからかなり高め, 3月はかなり高めから平年並み, 4月は概ね平年並みで推移している。

燧灘 (大浜) : 1月は著しく低めから平年並み, 2月はやや低めから著しく高め, 3月はかなり高めからかなり低め, 4月はやや低めからかなり低めで推移している。(1月と4月に過去最低値を更新。2月末から3月初めに最高値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 21 (2009) 年  
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 21 (2009) 年



#### 4) 赤潮 (3月16日～4月19日)

播磨灘：発生なし。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

#### 5) 卵稚仔

調査日：平成22年4月5日（備讃瀬戸，燧灘），6日（播磨灘）

出現量

		カタクチイワシ		マイワシ		イカナゴ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.01	0.01				
	対平年(%)	0.00	-	0.00	0.00				
備讃瀬戸	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.40
	平年値	0.00	0.00	0.62	0.00				
	対平年(%)	-	-	0.00	0.00				
燧灘	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.57	0.00
	平年値	0.12	0.00	1.68	0.02				
	対平年(%)	0.00	-	0.00	0.00				
総平均	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.30	0.20
	平年値	0.03	0.00	0.70	0.01				
	対平年(%)	0.00	-	0.00	0.00				

－：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55年(1980)～平成21年(2009)年度

マイワシ：平成5年(1993)～平成21年(2009)年度

イカナゴ：平成7年(1993)～平成21年(2009)年度

今回の調査点ではカタクチイワシ卵，イカナゴ稚仔は，確認されなかった。

## 2. 漁況

3月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では主にウシノシタ類，メイタガレイ，マダイ，マアナゴ，ヒラメ，シロギス，オニオコゼ，クロダイ，ナシフグ，小エビ類，タイラギ，アカニシが漁獲されている。オニオコゼ，クロダイ，アカニシは好調であるがウシノシタ類，ヒラメは低調である。</p> <p>建網では主にメバル，カサゴが漁獲されているが低調である。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にウシノシタ類，メイタガレイ，マダイ，クロダイ，スズキ，マアナゴ，シリヤケイカ，イイダコが漁獲されている。</p> <p>建網では主に，マダイ，スズキ，メバルが漁獲されている。</p> <p>中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業の3月漁獲量は，30～50Kg/隻/日 程度と不漁だった前年の8割程度と低調である。</p> <p>高松・庵治沖のイカナゴ込網の3月の漁獲量は，フルセが14トン，シンコが836トンの計850トンで，シンコ漁が好調である。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にネズツポ類，メイタガレイ，スズキ，コウイカが漁獲されているが低調である。</p> <p>柵網は3月15日から漁期が始まり，主にマダイ，クロダイ，スズキ，ウマヅラハギ，コノシロ，ヒラメが漁獲されている。</p> <p>さより機船船びき網は4月10日から漁期が始まったが，漁獲量は150kg/日・統と低調である。</p>